

**農用機械の普及状況**

昭和58年11月1日現在

農用トラクター(乗用型)

1,175台(0.47台)

個人所有

999台

組織所有

82台

共所有

94台

動力防除機

1,713台(0.68台)

個人所有

1,370台

組織所有

171台

共所有

172台

自脱型コンバイン

1,525台(0.61台)

個人所有

1,068台

組織所有

153台

共所有

304台

大豆脱粒機

64台(0.02台)

個人所有

2台

組織所有

46台

共所有

16台

米麦乾燥機

1,621台(0.65台)

個人所有

1,568台

組織所有

37台

共所有

16台

田植機

1,396台(0.56台)

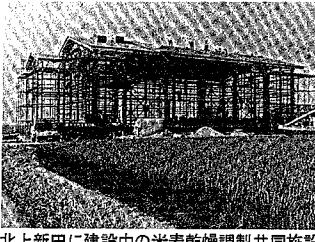
個人所有

1,295台

共所有

101台

内は農家1戸当たりの台数



北上新田に建設中の米麦乾燥調製共同施設

(前のページから続く)  
地面積が一・四六倍とご紹介しました。このような零細な規模では効率的な農業は望めませんので、一戸当たりの経営規模の拡大が必要です。それとともに、散在する農地の集積も生産性の向上に欠かすことできません。これなら機械化農業が一層進むとともに、機械の大型化が急テンポで進むことが予想されます。それに応するために、農道の整備、再圃場整備が必要となることでしょう。当市では、

山間地区を除いてほぼ圃場整備を終わっていますが、東部地区では十アール区画がほとんどであり、高性能な大型農業機械の導入に支障をきたしていません。これらを二十アール、三十アールに再区画整理する必要があります。それは用排水の問題があります。一つ見落とせないものがあります。限られる水資源的有效利用という面から、今後はパイプ灌漑を進めるとともに、排水の問題を解決してみます。それが用排水の問題です。農業機械銀行で

次に、農業用施設や農業用機械についてですが、農村には「機械化貧乏」という言葉があります。参考までに、左に各種農業機械の普及状況を掲載します。

機械をひととおりそろえるだけでも大変なことです。それに一台当たりの稼働日数は、年間でいくらにもなりません。農業用機械についてみれば過剰なまでの投資が行われています。そのため、効率的に機械を使うことができることで、効率的の利用となります。ただし、農業機械銀行を創設することも考慮されますが、農業用施設では、野菜や果樹の共同集出荷施設や冷蔵庫施設、米麦の乾燥調整共同施設、大規模なカントリー工場などがある構想されています。これらは、野菜や果樹、米などの商品としての付加価値を高めるために設置されるものです。このほか、新津市の特産品の振興を図る上での商品としての付加価値を高めるためには、市はも

うに、農業団体や農家の皆さんとの理解と協力を欠かせません。なかでも、現在、市内に五つある農協の合併が望まれております。これまでの生産面の実現のために、市はもともと、生活の場でもあるわけですが、その生地に比べて整備が遅れています。農村総合整備モデル事業の実施などを合わせ、快適な生活環境づくりに向けて積極的に整備することもこの計画であります。

お買物、ご用命は市内で

ができますのだから…。

**☆フレッシュ!! おいしい!! 健康!!**

贈りものにフルーツをどうぞ

・地方発送承ります。

・商品券もご利用下さい。

フレッシュでおいしい果物の店



新津市本町3 TEL 3-0397

朝9時30分までの受付は当日上り  
高級衣類のお手入れは……

**マルヤクリーニング** 持込2~3割引  
TEL 2-0739

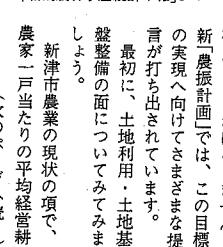
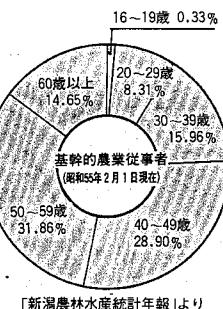
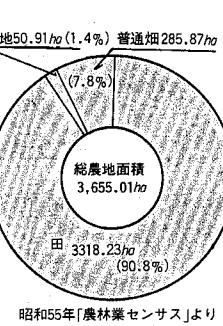
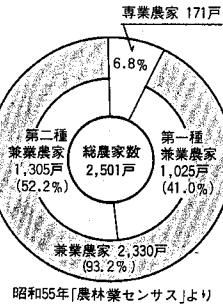
正しいクリーニングと保存は  
衣類の本当の節約

の特徴として、生産性向上のほかに、もう一点、工業の調和を図るということがあげられます。当市の土地利用の状況からみて、道路、本新しく造るにしても、農地を犠牲にしなければなりません。今後予想される工場団地や住宅地にしても、その適地は農地に求めざるを得ないでしょう。どのようにしたら市全体が発展し、また農業の再興が図れるかが今後の課題です。それは、かつて矛盾するものではなく、調和させること

このほど、新津市の農業の今後のあるべき姿を示した「農業振興地域整備計画」(以下「農振計画」)が策定されました。この計画は昭和四十七年度に第一次計画が策定されており、今回のは第二次計画ともいべきものです。第一次計画の策定から十年以上が経過し、農業を取り巻く環境には年々厳しいことが加わっています。特に、長期にわたる水田利用再編対策(減反政策)は、米作中心の当市の農業に

# 生産性の高い農業

## 第一次「農業振興地域整備計画」



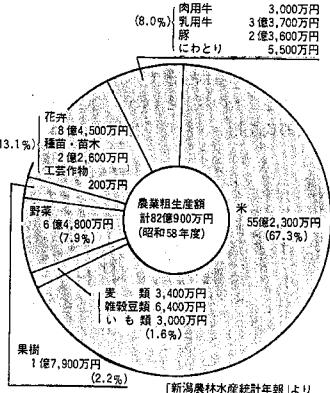
お買物、ご用命は市内で

従事者の高齢化など問題が山積です。手法が「農振計画」に盛り込まれていますが、それによる前に、新津市農業の現状をみてみましょう。そのためさまざまな施策が「農振計画」に盛り込まれていますが、それによる前に、新津市農業の現状をみてみましょう。昭和五十五年に行われた農業センサスによれば、

た農業センサスによれば、新津市の農戸戸数は二千五百戸となっています。このうち、専業農家はわずかに百戸程度で、一戸当たりの經營面積は市全体で約三千六百五十五ヘクタールとなりました。その内のさざまな九〇・八%樹園地が一・四%普通畠が七・八%となりました。農家は一千戸にすぎません。また、經營面積は市平均より若干多いとはいえ、一・四六%にすぎず、六〇%近くの農

### 農作物の種類別面積及び生産量(昭和58年度)

種類	面積	生産量
稻	3,010ha	1万6,200トン
麦	87ha	204トン
いも類	25ha	445トン
まめ類	135ha	186トン
野菜類	265ha	5,439トン
花球根類	24ha	627.3万球
卉花木類	50ha	2,222万本
飼料作物	48ha	1,439トン
果樹	69ha	1,068トン



お買物、ご用命は市内で

動物の診療・予防・検査・諸手術・入院預り・健康管理(月曜日休診・急患随時)

## ニイツ動物病院

獣医師 白杉友義・獣医師 白杉多恵子  
新津市本町2丁目7番21号 TEL 2-5976-4-6262  
(総合結婚式場「一樂」より五景方面へ200m左側)